

令和元年度

名古屋市高齢・障害福祉職員研修事業 年間実施計画



社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会  
社会福祉研修センター

# 目 次

○研修参加にあたって（注意事項）・・・・・・・・・・・・・・・・	1
○令和元年度 名古屋市高齢・障害福祉職員研修事業 年間予定表・・・・・・	2
○令和元年度 名古屋市高齢・障害福祉職員研修事業 年間実施計画・・・・・・	3
○対象事業所について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
○申込方法のご案内について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
○事前レポート提出方法のご案内について・・・・・・・・・・・・	10
○パソコン等でホームページをご覧ください環境がない場合・・・・・・・・	13

## 研修参加にあたって(注意事項)

### ○研修の中止について

台風接近等に伴う警報発令時における研修の開催について、受講者の安全確保を最優先とし、下記のとおり中止の判断をさせていただきます。

研修当日の、**受付開始2時間前**の時点で、  
名古屋市に『特別警報』及び『暴風警報』が発令されている場合は研修を中止とします。  
※上記以外の場合においても、受講者への著しい危険・被害が予想される場合は、研修を中止とします。

### ○研修の欠席について

止むを得ない事由により研修を欠席する場合には、できる限り早期に所属事業所及び名古屋市社会福祉協議会社会福祉研修センターまでご連絡ください。なお、急遽当日欠席となった場合にも、研修開始時刻までに必ずご連絡をお願いします。

### ○受講決定について

研修プログラムにより定員を設定しています。定員を超えるお申込みをいただいた場合、受講決定は抽選となり、抽選から外れた方は受講できませんので、ご注意ください。

※「受講決定のお知らせ」がFAXにて届いていることを必ずご確認のうえ会場までお越しください。

### ○受講にあたって

研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる場合は、受講決定後、本会担当までお知らせください。

### ○研修会場への公共交通機関の利用について

研修会場には専用駐車場がありません。研修を受講される場合には、必ず公共交通機関をご利用のうえ会場までお越しください。なお、公共交通機関の利用が困難な特段の事由がある場合は別途ご相談ください。

# 令和元年度 名古屋市高齢・障害福祉職員研修事業 年間予定表

全体	月	日	会場	区分	研 修 名	全体	月	日	会場	区分	研 修 名		
5月発送・6月決定	7	4	木	総	A	社会人としてのマナー研修	10月発送・11月決定	12	3	火	総	E	ターミナルケア研修
		5	金	応	E	普通救命研修			4	水	総	E	スーパービジョン実践研修(1日目)
		8	月	総	A	対人援助技術研修			11	水	総	E	スーパービジョン実践研修(2日目)
		19	金	日	E	介護技術研修(入浴介助)			13	金	吹	D	予算・決算対策研修
		22	月	総	D	会計基礎研修Ⅰ			18	水	総	E	スーパービジョン実践研修(3日目)
		25	木	総	A	新任職員基礎研修			19	木	総	C	人材定着研修
		26	金	就	B	タイムマネジメント研修			23	月	応	E	普通救命研修
		31	水	総	G	個別支援計画作成研修(基礎研修)			10	金	国	E	精神障害研修
	8	1	木	工	C	人材育成研修		1	14	火	研	G	相談支援技術研修
		6	火	医	E	精神障害研修			17	金	医	E	防災研修
		8	木	国	B	スーパービジョン入門研修			24	金	研	G	グループホーム世話人等研修
		19	月	国	A	介護記録研修			27	月	国	A	介護記録研修
		21	水	応	E	普通救命研修			31	金	国	C	メンタルヘルス研修
		26	月	日	E	介護技術研修(体位変換・移乗)			2	4	火	医	E
		27	火	研	E	医療知識研修(高齢)		7		金	就	G	就労支援研修
		28	水	国	G	個別支援計画作成研修(フォローアップ研修)		13		木	応	E	普通救命研修
7月発送・8月決定	9	2	月	総	A	福祉専門職としての接遇研修	2	18		火	研	E	医療知識研修(障害)
		4	水	総	A	新任職員基礎研修		19		水	国	E	権利擁護研修
		6	金	国	F	障害福祉制度研修		21		金	研	G	サービス等利用計画作成研修
		19	木	日	E	介護技術研修(入浴介助)		27	木	研	E	口腔ケア研修	
		25	水	国	F	放課後等デイサービス研修							
		26	木	国	E	アンガーマネジメント研修							
		30	月	就	E	薬学基礎知識研修							
	10	4	金	総	F	強度行動障害研修							
		7	月	総	B	ファシリテーション研修							
		10	木	日	E	介護技術研修(体位変換・移乗)							
17		木	応	E	普通救命研修								
18		金	総	D	会計基礎研修Ⅱ								
21		月	総	F	発達障害研修								
28		月	総	B	スーパービジョン入門研修								
11	1	金	総	E	多職種連携研修								
	5	火	応	E	普通救命研修								
	7	木	総	A	対人援助技術研修								
	11	月	総	C	労務管理研修								
	18	月	総	E	権利擁護研修								
	25	月	総	F	障害児支援基礎研修								
	29	金	総	F	知的障害研修								

○研修体系区分

高齢・障害福祉共通	A	新規採用者職員研修
	B	中堅職員研修
	C	管理者研修
	D	社会福祉法人会計事務員研修
	E	スキルアップ研修
障害福祉	F	分野別研修
	G	職種別研修

○研修会場 早見表

研	社会福祉研修センター
総	名古屋市総合社会福祉会館
国	名古屋国際会議場
就	名古屋市高齢者就業支援センター
医	名古屋市医師会館
工	名古屋市工業研究所

## ○研修体系区分

高齢・障害福祉共通	A	新規採用者職員研修
	B	中堅職員研修
	C	管理者研修
	D	社会福祉法人会計事務員研修
	E	スキルアップ研修
	F	分野別研修
	G	職種別研修

## ○研修会場 早見表

研	社会福祉研修センター
総	名古屋市総合社会福祉会館
国	名古屋国際会議場
就	名古屋市高齢者就業支援センター
医	名古屋市医師会館
工	名古屋市工業研究所
応	応急手当研修センター(昭和消防署)
日	日本福祉大学中央福祉専門学校
吹	名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)

令和元年度 名古屋市高齢・障害福祉職員研修事業 年間実施計画

研修体系区分		研 修 名	日時・場所	定員	対象	研 修 の ね ら い	講 師
高 齢 ・ 障 害 福 祉 職 員 向 け 共 通 研 修	新 規 採 用 者 職 員 研 修	新任職員基礎研修	【1回目】令和元年 7月25日 【2回目】令和元年 9月 4日 10:00～16:00 名古屋市総合社会福祉会館	各回100	採用後1年未満	福祉従事者として必須である人権について学ぶとともに、受講者同士の悩みの共有をおこなったり、新任職員の役割を理解し将来像を描くことで、職員として成長するための取り組む姿勢を学ぶ。 ※研修内で30分ほど、高齢者及び障害者虐待防止法についての理解を図る研修を実施します。	岐阜県人権懇話会会長 藤田敬一 氏 社会福祉法人名古屋ライトハウス法人本部 統括係長 渡邊俊公 氏 社会福祉法人なごや福祉施設協会 職員の皆様
		対人援助技術研修	【1回目】令和元年 7月 8日 【2回目】令和元年11月 7日 10:00～16:00 名古屋市総合社会福祉会館	各回100	採用後3年未満	対人援助職としての役割や求められる姿勢、ケアの本質（価値や倫理）等学ぶとともに、演習を交えながら他職員との円滑な意思疎通や協力・連携の向上、利用者・家族をより理解するために必要なコミュニケーションスキルを学ぶ。	兵庫県対人援助研究所 主宰 稲松真人 氏
		社会人としてのマナー研修	令和元年 7月 4日 10:00～16:00 名古屋市総合社会福祉会館	100	採用後1年未満	社会人として必要と考えられる接遇・マナーの基礎知識、接遇技術・身だしなみや言葉遣い、コミュニケーションスキルを総合的に学び、利用者満足の向上を目指す。	株式会社Woomax 松本理恵 氏
		福祉専門職としての接遇研修	令和元年 9月 2日 10:00～16:00 名古屋市総合社会福祉会館	100	採用後1年未満	接客との違いや、空間管理、声掛けのポイント、チームケアに関してなど、福祉専門職として必要な視点や接遇のポイントを学びながら日頃のケアを振り返り、利用者にとって心地よいケアの提供を目指す。	よりそっと 代表 山本正子 氏
		介護記録研修	【1回目】令和元年 8月19日 【2回目】令和 2年 1月27日 10:00～16:00 名古屋国際会議場	各回100	採用後3年未満	講義で介護記録の意義や目的、重要性和サービス提供との関係性、活用方法について学び、演習では例題をもとに実際に介護記録を書き、介護職員として留意すべき記録の書き方、他者が読みやすい記録の書き方を学ぶことで、正確でわかりやすい情報の記録・共有ができるよう目指す。	浦和大学短期大学部 介護福祉科 特任教授 青柳佳子 氏
	中 堅 職 員 研 修	スーパービジョン入門研修	【1回目】令和元年 8月 8日 10:00～17:00 名古屋国際会議場 【2回目】令和元年10月28日 10:00～17:00 名古屋市総合社会福祉会館	各回100	概ね経験年数3～5年の職員	初心者やスタッフを支えるとともに、指導・助言を通して成長を促す指導法のひとつとなるスーパービジョンについて、基礎理論や、指導者であるスーパーバイザーの役割、スーパーバイザーの成長を促すための方法など、職場全体の対人援助職としての専門性を向上させ、利用者の処遇向上に繋がるよう基本的な方法論を学ぶ。 ※本研修は、1日のみの入門編。より専門的・実践的な内容を学びたい方向けに「スーパービジョン実践研修(3日間)」もあり。 ※研修内で30分ほど、高齢者及び障害者虐待防止法についての理解を図る研修を実施します。	ソーシャルワーカー・サポートセンター 名古屋(SSN) 代表 浅野正嗣 氏
		タイムマネジメント研修	令和元年 7月26日 10:00～16:00 名古屋市高齢者就業支援センター	100	概ね経験年数3～5年の職員	効率的な時間の使い方を学ぶことで、利用者へのサービスの質を維持したまま、職員の負担の軽減や働き方を見直す機会とする。	株式会社日本マネジメント協会 杉山由布子 氏
		ファシリテーション研修	令和元年10月 7日 10:00～16:00 名古屋市総合社会福祉会館	100	概ね経験年数3～5年の職員	ファシリテーターとしての役割やスキルを学ぶことで、会議の活性化かつ効率的な進行為実現できるよう目指す。	株式会社日本マネジメント協会 中小企業診断士 宇井克己 氏
	管 理 者 研 修	人材定着研修	令和元年12月19日 10:00～16:00 名古屋市総合社会福祉会館	100	管理者・人事労務事務担当者	昨今の課題である職員定着について、効果的な方法を学びながら対象者が何を望んでいるかを考え、工夫点などの情報交換を通し、人材確保のヒントを得る機会とする。さらには定着後の職員および事業所の成長にもつながる魅力ある職場について考える。	平松朗務事務所 社会保険労務士 平松和子 氏
		労務管理研修	令和元年11月11日 10:00～16:00 名古屋市総合社会福祉会館	100	管理者・人事労務事務担当者	組織のコンプライアンスについて考え、事例を交えて適切な労務管理の方法を学ぶことで、働きやすい職場環境の整備につなげる。	一般社団法人名古屋北労働基準協会 専務理事・事務局長 特定社会保険労務士・RSTトレーナー 市之瀬高司 氏
		メンタルヘルス研修	令和 2年 1月31日 10:00～16:00 名古屋国際会議場	100	管理者・人事労務事務担当者	メンタルヘルスに関する知識を習得し、ストレスチェック制度の効果的な活用法や、自身や部下へのメンタルヘルスケア・対策について考え、職員の能力を十分に発揮させられるよう図る。	オフィス・イデア 特定社会保険労務士 上柳聡美 氏
		人材育成研修	令和元年 8月 1日 10:00～16:30 名古屋市工業研究所	100	管理者・人事労務事務担当者	各事業所にあったキャリアパスの構築方法や活用方法等を、受講生間の情報交換等も含め、実証的な視点で学ぶ。 ※研修内で30分ほど、高齢者及び障害者虐待防止法についての理解を図る研修を実施します。	高崎健康福祉大学 健康福祉学部 社会福祉学科 教授 永田 理香 氏
	社会福祉法人会計事務員研修	会計基礎研修Ⅰ	令和元年 7月22日 10:00～16:00 名古屋市総合社会福祉会館	各100	【Aコース】 会計事務担当者 【Bコース】 経営者・管理者	・Aコースは、簿記会計の役割とその基本的知識・重要性、貸借対照表・資金収支計算書・事業活動計算書の関係、作り方の基礎を学ぶ。 ・Bコースは、最新通知等の確認と整理及びそれに伴う実務対応や決算書の見方等を具体例から学ぶ。	Aコース:田中会計事務所 税理士 吉野縫子 氏 Bコース:田中会計事務所 税理士 吉野仁 氏
		会計基礎研修Ⅱ	令和元年10月18日 10:00～16:00 名古屋市総合社会福祉会館	各100	【Aコース】 会計事務担当者 【Bコース】 経営者・管理者	・Aコースは、社会福祉法人の日常的な会計処理やチェックリストの活用について学ぶ。 ・Bコースは、社会福祉法人のガバナンス強化と財務分析について学ぶ。	
		予算・決算対策研修	令和元年12月13日 10:00～16:00 名古屋市中小企業振興会館	各100	【Aコース】 会計事務担当者 【Bコース】 経営者・管理者	・Aコースは、社会福祉法人の予算・決算 作成すべき計算書類について学ぶ。 ・Bコースは、社会福祉法人の予算・決算と事業計画について学ぶ。	

研修体系区分		研 修 名	日時・場所	定員	対象	研 修 の ね ら い	講 師
高 齢 ・ 障 害 福 祉 職 員 向 け 共 通 研 修	ス キ ル ア ッ プ 研 修	介護技術研修 (体位変換・移乗)	【1回目】令和元年 8月26日 【2回目】令和元年10月10日 10:00～16:00 日本福祉大学中央福祉専門学校	各40	高齢・障害福祉 関係業務従事者	ボディメカニクス等の基礎知識と実技演習により職員の介護技術を向上させ、腰痛予防と利用者の身体に負担の少ない体位変換・移乗の実現を目指す。	日本福祉大学中央福祉専門学校 介護福祉士科専任教員 板部美紀子 氏 介護福祉士科学科長 高木直美 氏
		介護技術研修 (入浴介助)	【1回目】令和元年 7月19日 【2回目】令和元年 9月19日 10:00～16:00 日本福祉大学中央福祉専門学校	各40	高齢・障害福祉 関係業務従事者	入浴介助の目的や器具等の使い方を学び、実際に入浴体験して利用者の気持ちを感じることで、利用者への安心・安全なサービスの提供へつなげる。	日本福祉大学中央福祉専門学校 介護福祉士科学科長 高木直美 氏 介護福祉士科専任教員 板部美紀子 氏
		精神障害研修	【1回目】令和元年 8月 6日 名古屋市医師会館 【2回目】令和 2年 1月10日 名古屋国際会議場 10:00～16:00	各120	高齢・障害福祉 関係業務従事者	障害特性や原因、関わり方について学ぶとともに、当事者やご家族を招いて、本人たちの取り巻く環境や症状、ニーズを直接感じてもらう。	刈谷市基幹相談支援センター 相談支援専門員 王子田 剛 氏 名古屋市精神障害者家族会連合会 会長 堀田明 氏 およびご家族の皆様 特定非営利活動法人「名古屋サーティーン」代表理事 河合俊光 氏 および当事者の皆様
		医療知識研修(高齢)	令和元年 8月27日 10:00～16:00 社会福祉研修センター	60	高齢関係事業所職員	高齢者福祉施設において、利用者・医療機関との関わりの中で必要となる、医療基礎知識や連携を円滑にする方法を学ぶ。	一般財団法人 名古屋市療養サービス事業団 名古屋市港・熱田訪問看護ステーション 所長 中村美喜 氏
		医療知識研修(障害)	令和 2年 2月18日 10:00～16:00 社会福祉研修センター	60	障害関係事業所職員	障害福祉施設において、利用者・医療機関との関わりの中で必要となる、医療基礎知識や連携を円滑にする方法を学ぶ。	一般財団法人 名古屋市療養サービス事業団 名古屋市港・熱田訪問看護ステーション 所長 中村美喜 氏
		薬学基礎知識研修	令和元年 9月30日 10:00～16:00 名古屋市高齢者就業支援センター	180	高齢・障害福祉 事業所職員	薬の服薬管理に関する基礎知識及び副作用や相互作用、注意点について学ぶことで、利用者の安全確保につなげる。	名古屋市薬剤師会 近藤満里子 氏
		防災研修	令和 2年 1月17日 10:00～16:00 名古屋市医師会館	80	経営者・管理者等	災害に関する基礎知識の他、社会福祉施設・事業所の防災および発災時の役割・責務など、心構えから対応までを講義や演習を通して学び、適切な体制づくりを考える。	NPO法人 愛知県防災士会 防災アドバイザー、研修委員 (藤田医科大学 医療科学部 特任教授) 羽田 道信 氏
		権利擁護研修	【1回目】令和元年11月18日 名古屋市総合社会福祉会館 【2回目】令和 2年 2月19日 名古屋国際会議場 10:00～16:30	各100	高齢・障害福祉 事業所職員	判断能力が低下した方の権利を守るための成年後見制度や障害者差別・虐待についての基礎知識や関係機関とその役割などを学び、権利擁護の理解を深める。	名古屋市社会福祉協議会 権利擁護推進部 職員
		アンガーマネジメント研修	令和元年 9月26日 10:00～16:00 名古屋国際会議場	100	高齢・障害福祉 事業所職員	怒りや悲しみ等の感情をコントロールし、状況を客観的に見るための方法を学ぶことで、衝動的に感情が高まっても自身で沈静化し適切に対処できる力を身につける。	株式会社日本マネジメント協会 香山由紀 氏
		口腔ケア研修	令和 2年 2月27日 10:00～16:00 社会福祉研修センター	60	高齢・障害福祉 事業所職員	口腔ケアの役割・効果、嚥下との関係、正しいブラッシング法を学ぶことで、利用者の口腔環境の改善につなげる。	坂井歯科医院 歯科医師 坂井 謙介 氏 日本歯科衛生士会 在宅療養指導認定歯科衛生士(口腔機能管理) 亀井 智子 氏
		多職種連携研修	令和元年11月 1日 10:00～16:00 名古屋市総合社会福祉会館	80	高齢・障害福祉 事業所職員	地域包括ケアシステムの概念、専門職・事業体としての役割について学び、地域共生社会の実現に向けた取り組みについて考える。	合同会社TKT福祉経営研究所 代表 田島 誠一 氏
		排泄ケア研修	令和 2年 2月 4日 10:00～16:00 名古屋市医師会館	100	高齢・障害福祉 事業所職員	排泄ケアの意義やおむつの果たす役割、おむつの選び方や上手な使い方を学ぶとともに、実技演習ではおむつ装着体験などを通して、排泄介助の負担の軽減や利用者が望む生活を過ごしていただくためのスキルを学ぶ。	よりそっと 代表 山本正子 氏
		ターミナルケア研修	令和元年12月 3日 10:00～16:00 名古屋市総合社会福祉会館	100	高齢・障害福祉 事業所職員	ターミナル期の利用者に対して、本人や家族が望む最後を迎えるために、プロとしてどのような支援ができるのか、また心構えや家族・職員のケアについて学ぶ。	湖山医療福祉グループ 医療法人財団 百薬の会 人材開発室部長 高口光子 氏
		スーパービジョン 実践研修 ※3日間受講	令和元年12月 4日 令和元年12月11日 令和元年12月18日 10:00～16:30 名古屋市総合社会福祉会館	60	採用後3年以上の 職員	スーパービジョンについて3日間かけて基礎から実践法まで学ぶ。演習を通して面談等の実践方法を学ぶことで、職場全体で対人援助職としての専門性を向上させ、利用者へのサービスの質の向上につなげる。	ソーシャルワーカー・サポートセンター 名古屋(SSN) 代表 浅野正嗣 氏
		普通救命研修	【1回目】令和元年 7月 5日 【2回目】令和元年 8月21日 【3回目】令和元年10月17日 【4回目】令和元年11月 5日 【5回目】令和元年12月23日 【6回目】令和 2年 2月13日 9:00～12:00 応急手当研修センター	各30	高齢・障害福祉 事業所職員	心肺蘇生法や止血法といった応急手当の知識・技術やAEDの使用法について学び、緊急時に対応できる人材を育成する。	応急手当研修センター 指導員

研修体系区分		研 修 名	日時・場所	定員	対象	研 修 の ね ら い	講 師
障 害 福 祉 職 員 向 け 研 修	分 野 別 研 修	障害福祉制度研修	令和元年 9月 6日 10:00～16:30 名古屋国際会議場	100	障害者(児)支援 関係業務従事者	制度策定までの時代背景や、障害者総合支援法や、差別解消法など関連法や制度についての基礎知識について学ぶ。 ※研修内で30分ほど、高齢者及び障害者虐待防止法についての理解を図る研修を実施します。	椋山女学園大学 人間関係学部 人間関係学科 教授 手嶋雅史 氏
		強度行動障害研修	令和元年10月 4日 10:00～16:00 名古屋市総合社会福祉会館	100	障害者(児)支援 関係業務従事者	強度行動障害の特性に配慮した支援法を学ぶことで、自傷・他害行為を減らし、虐待の防止につなげる。	社会福祉法人 大府福祉会 たくと大府 施設長・サービス管理責任者 林大輔 氏
		知的障害研修	令和元年11月29日 10:00～16:00 名古屋市総合社会福祉会館	100	障害者(児)支援 関係業務従事者	知的障害の特性について理解を深めるとともに、当事者のニーズに基づくそれぞれに合った支援方法等を学ぶ。	長野県北信圏域障害者生活支援センター 所長 日本相談支援専門員協会 顧問 相談支援専門員 福岡寿 氏
		発達障害研修	令和元年10月21日 9:15～15:00 名古屋市総合社会福祉会館	100	障害者(児)支援 関係業務従事者	発達障害の特性及び行動の見方や目的、アセスメントについて学ぶことで、どのような支援が必要かを判断する能力を養う。	アイズサポート 代表 伊藤久志 氏
		放課後等デイサービス研修	令和元年 9月25日 10:00～16:00 名古屋国際会議場	100	障害児支援 関係業務従事者	放課後等デイサービス事業や事業所職員として必要な視点について再確認するとともに、他機関との連携や子供や保護者とのかかわり方についても学び、また演習を通して考え、自身の日頃の支援の振り返りを行う。	NPOあいち障害者センター 理事長 近藤直子 氏
障 害 福 祉 職 員 向 け 研 修	職 種 別 研 修	サービス等利用計画作成研修	令和 2年 2月21日 10:00～16:30 社会福祉研修センター	50	相談支援専門員	サービス等利用計画作成の意義について理解し、アセスメント、目標設定していく過程を学び、事例検討を通して利用者特性を理解したマネジメント技術を高めることを目的とする。 ※研修内で30分ほど、高齢者及び障害者虐待防止法についての理解を図る研修を実施します。	愛知県相談支援専門員協会 代表理事 日本相談支援専門員協会 理事 蒲郡市社会福祉協議会 蒲郡市障がい者支援センター センター長 鈴木康仁 氏
		相談支援技術研修	令和2年 1月14日 10:00～16:00 社会福祉研修センター	50	相談支援専門員	自らの面接場面を振り返りながら相談面接の技法を学ぶことで、アセスメントスキルを向上させることをねらいとする。	日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授 大谷京子 氏
		個別支援計画作成研修 (基礎研修・フォローアップ研修)	【基礎研修】令和元年 7月31日 10:00～16:30 名古屋市総合社会福祉会館 【フォローアップ研修】令和元年 8月28日 10:00～16:30 名古屋国際会議場	各100	サービス管理責任者・児童発達支援 管理責任者	基礎研修では、個別支援計画作成の意義について理解し、アセスメント、目標設定していく過程を学ぶ。 フォローアップ研修では、基礎研修後に設定した自施設での課題に取り組んだ結果の報告とブラッシュアップを行い、利用者の生活支援について改めて考え直すことをねらいとする。	株式会社パス・プランナー・ジャパン 横山淳博 氏 名古屋市総合リハビリテーションセンター 自立支援局長 鈴木智敦 氏 社会福祉法人 名古屋キリスト教社会館 活動センターねーぶる施設長 江尻寛 氏 NPO法人 こすもす畑 理事長 高橋尚希 氏
		就労支援研修	令和 2年 2月 7日 10:00～16:00 名古屋市高齢者就業支援センター	60	就労支援事業所 従事職員	認知行動療法のひとつである、SST(ソーシャル・スキルズ・トレーニング)を学ぶことで、社会生活上で様々な困難を抱える人たちの自己対処能力を高め、自立を支援する技術の習得を目指す。	同朋大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授 吉田みゆき 氏
		グループホーム 世話人等研修	令和 2年 1月24日 10:00～16:00 社会福祉研修センター	40	グループホーム 世話人等	事例検討を通じて、利用者が安全で安心できる地域やホームなどの環境づくりについて考えるとともに、世話人同士のネットワークをつくることをねらいとする。	社会福祉法人親愛の里 理事・精神保健福祉士 青木邦子 氏
		障害児支援 基礎研修	令和元年11月25日 10:00～16:00 名古屋市総合社会福祉会館	100	障害児支援 関係業務従事者	障害児福祉、利用児童の発達段階に応じた個別支援計画に基づく適切な支援方法について再確認するとともに、利用児童やその保護者との関わり方について学ぶことをねらいとする。	名古屋キリスト教社会館 加藤淳 氏 あさみどりの会 山本智恵 氏

## 対象事業所について

○名古屋市内に所在のある、下表に掲げる事業所に従事する職員が対象になります。

区分	事業所種類	
高齢福祉	訪問系サービス事業所 (介護予防を含む)	訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、 訪問リハビリテーション、夜間対応型訪問介護、 定期巡回・随時対応型訪問介護看護、居宅介護支援、 介護予防支援、予防専門型訪問サービス、 生活支援型訪問サービス
	通所系サービス事業所 (介護予防を含む)	(地域密着型)通所介護、通所リハビリテーション、 短期入所生活介護、短期入所療養介護、 認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、 複合型サービス、予防専門型通所サービス、 ミニデイ型通所サービス、運動型通所サービス
	入所系サービス事業所 (介護予防を含む)	(地域密着型)特定施設入居者生活介護、 認知症対応型共同生活介護、 (地域密着型)介護老人福祉施設、介護老人保健施設、 介護医療院、介護療養型医療施設、養護老人ホーム、 軽費老人ホーム、ケアハウス、住宅型有料老人ホーム、 サービス付き高齢者向け住宅
障害福祉	訪問系サービス事業所	居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、 重度障害者等包括支援
	日中活動系サービス事業所	生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、 就労定着支援、療養介護、短期入所
	居住系サービス事業所	自立生活援助、共同生活援助、施設入所支援
	計画相談支援 地域相談支援事業所	計画相談支援、障害児相談支援、 地域相談支援(地域移行支援・地域定着支援)
	地域生活支援事業所	移動支援、精神障害者地域活動支援、 デイサービス型地域活動支援、作業所型地域活動支援
	障害児通所支援事業所	児童発達支援、医療型児童発達支援、 放課後等デイサービス及び保育所等訪問支援

## 申込方法のご案内について

本研修の参加申し込みは、ホームページ「名古屋市社会福祉協議会・在宅福祉部／社会福祉研修センター」からお願い申し上げます。

## ○ホームページからの申込方法

## 1 ホームページを開く

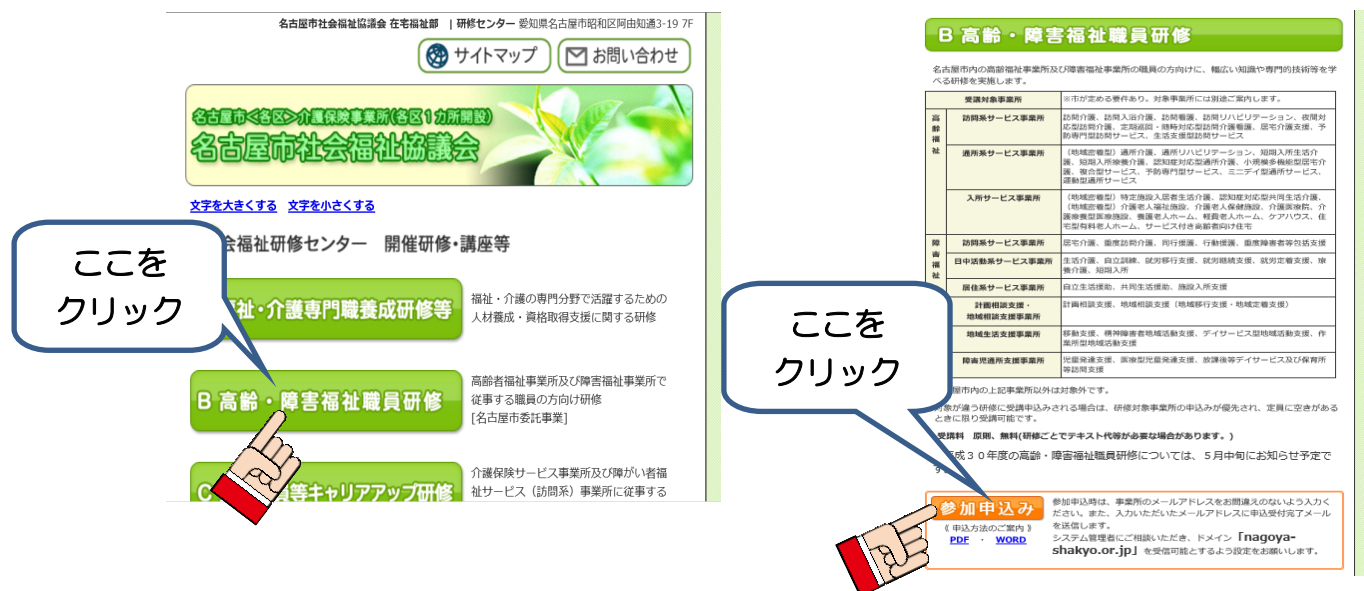
(1) 「名古屋市社会福祉協議会・在宅福祉部／社会福祉研修センター」ホームページを開く。

- ・方法１…次の URL から開く。URL : <http://care-net.biz/23/zaitakunet/>
- ・方法２…ブラウザで「名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター」と入力し検索

(2)「社会福祉研修センター〔詳しくはこちら〕」をクリック



(3) 「B 高齢・障害福祉職員研修」「参加申込み」をクリック



## 2 申し込みページで申込情報の登録

※カナ、数字、英数文字は「半角」での入力をお願いします。

### (1) 法人及び事業所情報の登録

- 画面の指示に従って、「法人」「事業所」の情報を入力してください。  
「事業所サービス種別」はリストの中から選んでください。
- 必要な項目の情報を入力いただいたら、画面下の「次へ」をクリックしてください。
- 「受講決定のご案内」は入力いただいた「FAX番号」にお送りしますので、お間違えのないよう入力してください。
- すべての項目を入力いただかないと次の画面に移れませんので、ご注意ください。

### (2) 受講希望情報の登録

- 受講希望の「研修」、受講希望者の「氏名」「職種」「経験年月」を画面の指示に従って入力してください。
- 「研修」「職種」については、リストの中から選んでください。
- 1回のお申込みで7研修（7名分）まではお申込みいただけます。8名以上のお申込みがある場合は、お手数ですがもう一度「法人及び事業所登録」からお願いいたします。
- 同一の研修に複数人の希望者がみえる場合は必ず「優先順位」に数字を入力してください。  
(次のページをご覧ください。)
- 必要な項目の情報を入力いただいたら、画面上又は下の「登録」をクリックしてください。

- ・同一の研修に複数人の希望者がみえる場合の「優先順位」について

**この欄に優先順位を半角数字で入力**

受講希望者優先順位 (1)	<input type="text"/>	同一研修で複数人の受講希望がある場合は、優先順位を入力してください。 例：優先順位1位の方は「1」
受講希望者 (1)	<input type="text"/> <input type="text"/>	受講希望研修 (1) の受講希望者名 (左のマスに「姓」、右のマスに「名」) を入力してください。 例：社協 花子
受講希望者 (1) フリガナ	<input type="text"/> <input type="text"/>	受講希望研修 (1) の受講希望者のフリガナ (左のマスに「姓」、右のマスに「名」) を半角カタカナで入力してください。 例：社協 花子
受講希望者 (1) 職種	<input type="text"/>	受講希望研修 (1) の受講希望者の職種をリストから1つ選んでください。
受講希望者 (1) 経験年月	<input type="text"/>	受講希望者 (1) の職種経験年月を選んでください。

例：A研修に、社協花子さん、介護福士さんの2人が受講希望をしていて、優先順位が社協花子さん、介護福士さんの順番の場合。  
⇒「受講希望研修」は2人とも同じ研修をリストから選び、「受講希望者優先順位」欄に社協さんは「1」、介護さんは「2」を入力する。

### (3) 申込み内容の最終確認

- ・入力いただいた申込内容を画面でご確認ください。
- ・修正が必要な場合は、画面下の「修正する」ボタンをクリックし、内容を修正してください。
- ・申込内容が正しい場合は、画面下の「送信する」ボタンをクリックしてください。

高齢・障害福祉職員研修 申込内容確認	
入力	確認
以下の項目を確認いただき、最後に「送信する」ボタンをクリックしてください。	
法人名 <small>必須</small>	XXXXX 法人名を入力してください。
事業所名 <small>必須</small>	XXXXX 事業所名を入力してください。
事業所番号	XXXXX 10桁の事業所番号を入力してください。
事業所サービス種別 <small>必須</small>	(高) 通所系サービス事業所 (介護予防含む) 事業所の種別をリストから1つ選んでください。
入力者氏名 <small>必須</small>	XXXXX XXXXX
入力者フリガナ	XXXXX XXXXX
受講希望者優先順位 (7)	<input type="text"/> 同一研修で複数人の受講希望がある場合は、優先順位を入力してください。 例：優先順位1位の方は「1」
受講希望者 (7)	<input type="text"/> <input type="text"/> 受講希望研修 (7) の受講希望者名 (左のマスに「姓」、右のマスに「名」) を入力してください。 例：社協 花子
受講希望者 (7) フリガナ	<input type="text"/> <input type="text"/> 受講希望研修 (7) の受講希望者のフリガナ (左のマスに「姓」、右のマスに「名」) を半角カタカナで入力してください。 例：社協 花子
受講希望者 (7) 職種	<input type="text"/> 受講希望研修 (7) の受講希望者の職種をリストから1つ選んでください。
受講希望者 (7) 経験年月	<input type="text"/> 受講希望者 (7) の職種経験年月を選んでください。

**入力いただいた申込内容  
をご確認してください。**

**申込内容の修正が必要な場合は「修正する」をクリック。  
申込内容が正しい場合は「送信する」をクリック。**

**登録**

### (4) 申込情報のメールでの確認

- ・すべての登録が正常に終了すると、(1)の「法人及び事業所登録」で入力いただきましたメールアドレスに確認メールが自動送信されます。
- ・確認メールの件名は、「高齢・障害福祉職員研修 研修申込受付完了メール」です。本文には「事業所名」「入力者氏名」「申込年月日」「受講希望研修」「受講希望者名」が記載されていますので、ご確認くださいようお願いいたします。

# 事前レポート提出方法のご案内について

本研修受講決定後の「事前レポート提出」は、ホームページ「名古屋市社会福祉協議会・在宅福祉部／社会福祉研修センター」からお願い申し上げます。

## ○ホームページからの「事前レポート提出」方法

### 1 ホームページを開く

(1) 「名古屋市社会福祉協議会・在宅福祉部／社会福祉研修センター」 ホームページを開く。

- ・方法1…次の URL から開く。URL : <http://care-net.biz/23/zaitakunet/>
- ・方法2…ブラウザで「名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター」と入力し検索

(2) 「社会福祉研修センター [詳しくはこちら]」をクリック



(3) 「B 高齢・障害福祉職員研修」「事前レポート提出」をクリック

開催日	研修名	対象	申込状況	受付状況
6月13日(金)	介護・マナー研修	共通	開催要否	受付終了
6月18日(水)	介護基礎研修	共通	開催要否	受付終了
6月19日(木)	新任職員基礎研修	共通	開催要否	受付終了
6月20日(金)	救急救命研修(普通)	共通	開催要否	受付終了
6月27日(金)	障がい分野別研修(身体)	障がい	開催要否	受付終了
7月 8日(水)	サービス等利用計画作成基礎研修 ※1月のフォローアップ研修とセット	障がい	開催要否	受付終了
7月 9日(木)	救急救命研修(上級)	共通	開催要否	受付終了
7月 9日(木)	個別支援計画作成基礎研修 ※1月のフォローアップ研修とセット	障がい	開催要否	受付終了
7月25日(金)	救急救命研修(普通Ⅱ)	共通	開催要否	受付終了

専用TEL 052-745-6660 申込み専用FAX 052-731-9730

＜受講決定後の事前レポート提出＞  
「事前レポート提出」ボタンをクリックしてください。  
FAXで届いた「受講決定のお知らせ」をご覧くださいながら必要  
入力してください。  
は「事前レポート提出方法のご案内」をご覧ください。

事前レポート提出

## 2 事前レポート提出ページで情報・レポートの登録

※FAXで届いた「受講決定のお知らせ」をお手元にご用意ください。

※カナ、数字、英数文字は「半角」での入力をお願いします。

### (1) 事業所情報の入力

- ・画面の指示に従って、「事業所」の情報を入力してください。
- ・「事業所サービス種別」はリストの中から選んでください。
- ・「事業所電話番号」と「事業所メールアドレス」を正確に入力してください。

高齢・障害福祉職員研修 事前レポート 登録

入力 ..... 確認 ..... 登録完了

※FAXで送信させていただきました「受講決定のお知らせ」をお手元にご用意いただき、事前レポートを入力ください。最後に「登録」ボタンをクリックしてください。

※「事前レポート」欄は3つありますが、「受講決定のお知らせ」に記載がある内容のみ（（1）のみ、（1）+（2）のみの場合があります。）入力してください。

※必須マークの項目は入力必須項目です。必ず入力してください。

※必須項目の入力方法が間違っていた場合、「登録」ボタンをクリックすると「事前レポート」の入力内容が消えてしまいます。ご不安がある場合は、必須項目の入力後「登録」ボタンをクリックいただき、エラーメッセージがないことを確認後「修正」ボタンをクリックいただき、「事前レポート」を入力してください。

必要事項をすべて  
入力してください。

事業所名 必須

「受講決定のお知らせ」のあて先である事業所名を入力してください。  
事業所名のエラーメッセージです

事業所サービス種別 必須

-Select-

事業所のサービス種別をリストから1つ選んでください。種別の前の(高)は高齢者福祉施設、(障)障がい福祉施設等です。  
事業所サービス種別のエラーメッセージです

### (2) 受講決定者の情報～事前レポートの入力

- ・「受講決定のお知らせ」に記載されています「受講決定者」の「氏名」「フリガナ」「職種」「受講研修」「受講番号」を画面の指示に従って入力してください。
- ・「職種」「受講研修」については、リストの中から選んでください。
- ・「受講決定のお知らせ」下部にあります「事前レポート」の内容を最大510文字以内で記入してください。「受講決定のお知らせ」に記載がある内容のみ（（1）のみ、（1）+（2）のみの場合があります。）入力してください。
- ・必要な項目の情報、事前レポートを入力いただいたら、画面上又は下の「登録」をクリックしてください。

事業所メールアドレス (確認) 必須

メールアドレスをもう一度正確に入力してください。

受講決定者氏名 必須

「受講決定のお知らせ」の「受講決定者氏名」を入力してください。  
受講決定者氏名のエラーメッセージです

受講決定者フリガナ 必須

「受講決定のお知らせ」の「受講決定者氏名」のフリガナを半角カタカナを入力してください。  
受講決定者フリガナのエラーメッセージです

受講決定者職種

-Select-

受講決定者の職種をリストから1つ選んでください。  
受講決定者職種のエラーメッセージです

受講研修

-Select-

「受講決定のお知らせ」の「研修」をリストから1つ選んでください。  
受講研修のエラーメッセージです

受講番号

「受講決定のお知らせ」に記載がある「受講番号」を入力してください。  
受講番号のエラーメッセージです

事前レポート (1)

「受講決定のお知らせ」に記載がある「事前レポート①」の内容を入力してください。  
事前レポート (1) のエラーメッセージです

必要事項をすべて  
入力してください。

最後に登録を  
クリック。

ツール(0)

受講番号のエラーメッセージです

事前レポート (1)

「受講決定のお知らせ」に記載がある「事前レポート①」の内容を入力してください。  
事前レポート (1) のエラーメッセージです

事前レポート (2)

「受講決定のお知らせ」に記載がある「事前レポート②」の内容を入力してください。  
事前レポート (2) のエラーメッセージです

事前レポート (3)

「受講決定のお知らせ」に記載がある「事前レポート③」の内容を入力してください。  
事前レポート (3) のエラーメッセージです

登録

登録したメールアドレスが正しいことを確認してください。

### (3) 入力内容の最終確認

- ・入力いただいた内容を画面でご確認ください。
- ・修正が必要な場合は、画面下の「修正する」ボタンをクリックし、内容を修正してください。
- ・申込内容が正しい場合は、画面下の「送信する」ボタンをクリックしてください。

高齢・障害福祉職員研修 事前レポート 登録

入力 ●●●●●●●● 確認 ●●●●●●●● 登録完了

以下の項目を確認いただき、最後に「送信する」ボタンをクリックしてください。

事業所名 必須

XXXXX  
「受講決定のお知らせ」のあて先である事業所名を入力してください。

事業所サービス種別 必須

障害 居住系サービス事業所  
事業所のサービス種別をリストから1つ選んでください。種別の前の(高)は高齢者福祉施設、(障)障がい福祉施設等です。

事業所電話番号 必須

03-1234-5678  
お電話番号を正確に入力してください。

入力いただいた内容をご確認してください。

事前レポート(1)  
※自由記述最大510文字

XXXX  
XXXX  
「受講決定のお知らせ」に記載がある「事前レポート(1)」の内容を入力してください。

事前レポート(2)  
※自由記述最大510文字

XXXX  
XXXX  
「受講決定のお知らせ」に記載がある「事前レポート(2)」の内容を入力してください。

事前レポート(3)  
※自由記述最大510文字

XXXX  
XXXX  
「受講決定のお知らせ」に記載がある「事前レポート(3)」の内容を入力してください。

事前レポート(4)  
※255文字以内で記入してください。

XXXXXX

入力内容の修正が必要な場合は「修正する」をクリック。  
入力内容が正しい場合は「送信する」をクリック。

修正する

送信する

### (4) 事前レポート提出完了のメールでの確認

- ・すべての情報入力～レポート入力の登録が正常に終了すると、(1)で入力いただいた「事業所メールアドレス」に入力いただきましたメールアドレスに確認メールが自動送信されます。
- ・確認メールの件名は、「高齢・障害福祉職員研修 事前レポート受付完了メール」です。本文には「事業所名」「受講決定者氏名」「入力年月日」「受講研修名」が記載されていますので、ご確認いただけますようお願いいたします。

## パソコン等でホームページをご覧ください環境がない場合

### 研修参加申込について

パソコン等でホームページから参加申込みいただく環境がない場合は、14ページの「FAX参加申込登録シート」に必要事項をご記入のうえFAX送信してください。

受付確認後（3営業日以内）にFAX用の参加申込書をFAXで送信します。

### 事前レポートの提出について

パソコン等でホームページから事前レポートを入力いただく環境がない場合は、「受講決定のお知らせ」に記載されている課題について、A4の任意様式で構いませんので、「研修名」、「受講番号」、「お名前」、「事前課題への回答」、をご記入の上、下記の番号へFAX送信ください。

※「受講決定のお知らせ」に事前レポートの課題が無い場合は、回答頂く必要はありません。

### 研修参加申込および事前レポート提出先

あて先：名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター

FAX番号： 7 3 1 — 9 7 3 0 ※お間違えのないようご注意ください。

問合せ先： 745－6660

（午前8時45分～午後5時30分 ※土・日曜日及び祝日を除く）

#### 【皆様へのお願い】

皆様からのご要望にお応えし、ホームページからの研修申込み及び事前レポート提出を受け付けています。

原則ホームページからお申し込み・ご提出いただきますようお願い申し上げます。

パソコン等でホームページをご覧ください環境がない場合のみ、FAXでのお申し込み・ご提出を受け付けさせていただきます。

皆様のご理解とご協力を重ねてお願いいたします。

FAX : 052-731-9730

(ホームページから参加申込みいただく環境がない事業所のみ登録ください。)

## 名古屋市高齢・障害福祉職員研修 FAX参加申込登録シート

名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター宛

当事業所は、ホームページから参加申し込むことができないため、FAXでの参加申込みを希望します。

(以下のシートに記入していただき、社協 研修センターあてに FAX 送信してください。)

施設名 事業所名	
担当者氏名	
TEL	
FAX	※FAX 番号はお間違えのないよう、ご確認をお願いします。

※FAX 受付・確認後に、「FAX 参加申込書」を、上記の貴事業所 FAX に送信します。

(3 営業日以内)

※お送りする「FAX 参加申込書」については、令和元年度に実施する高齢・障害福祉職員研修にご利用ください。

《特記事項》